

平成 26 年度
港湾空港局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 26 年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・ 5

1 平成26年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成26年度港湾空港局予算要求総括表

【一般会計】

平成26年度要求総額 6,001,842千円
 (平成25年度予算額 4,725,442千円)
 前年度比 +27.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 A	平成25年度 予算額 B	増 減 A - B
【新成長戦略関連】 北九州空港航空貨物拠点化事業	161,537	129,309	32,228
【新成長戦略関連】 北九州空港路線誘致事業	133,460	149,011	▲15,551
北九州空港アクセス推進事業	169,000	190,000	▲21,000
【新成長戦略関連】 (新)響灘洋上風力発電拠点化推進事業	35,400	0	35,400
【新成長戦略関連】 (新)北九州港における更なる物流拠点化推進事業	10,000	0	10,000
国直轄事業負担金	2,022,000	1,616,000	406,000
奥洞海航路浚渫事業	252,000	97,500	154,500

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 (A)	平成25年度 予算額 (B)	増 減 (A-B)
北九州港海岸防災 推進事業	16,000	8,500	7,500
港湾施設保安対策 事業	226,401	207,320	19,081
モーダルシフト推 進補助事業	5,000	5,000	0
魅力ある海辺づく りの推進	10,435	4,881	5,554
北九州港市民PR 事業	14,410	15,892	▲1,482

【港湾整備特別会計】

平成26年度要求総額 12,748,000千円
 (平成25年度予算額 10,751,000千円)
 前年度比 +18.6%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 (A)	平成25年度 予算額 (B)	増 減 (A-B)
新門司埋立地造成 事業	146,540	87,900	58,640
響灘東埋立地整備 事業	488,200	51,400	436,800
北九州港利用促進 補助事業	46,300	43,400	2,900
太刀浦地区クレー ン更新事業	473,832	381,226 債務負担行為 (573,800)	92,606
太刀浦埠頭用地 整備事業	226,400	99,000	127,400
公債償還に係る経費	9,537,218	8,522,714	1,014,504

【空港関連用地整備特別会計】

平成26年度要求総額 1,680千円
 (平成25年度予算額 4,400千円)
 前年度比 ▲61.8%

【臨海部産業用地貸付特別会計】

平成26年度要求総額 418,900千円
 (平成25年度予算額 401,800千円)
 前年度比 +4.3%

(2) 平成 26 年度港湾空港局経営方針

港湾空港局は、「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進！北九州」プランの推進を図るとともに、「新成長戦略」に掲げたプロジェクトを着実に実行していきます。

平成 26 年度は、以下の 3 つの柱を基にして、各事業に取り組みます。

①北九州港 ～ 長期構想「アジア・グリーンポート構想」の推進

北九州港の将来の方向性を示した「アジア・グリーンポート構想」を推進するため、本市の最大の強みである「環境力」と充実した物流基盤が支える「港湾力」により、アジアの国際拠点港湾を目指していきます。

②北九州空港 ～ 航空貨物拠点化の推進と旅客便の利用促進

航空貨物の集貨活動及び既存便の安定就航や増便、新規路線誘致に向けた取り組みを強化するとともに、航空貨物拠点化へ向けたビジョンの策定を行います。また、既存路線の更なる集客活動や新たな路線誘致に取り組むとともに、空港アクセスの利便性を確保し空港の利用促進を図ります。

③港湾整備特別会計 ～ 経営健全化の着実な推進

港湾施設と一体となった埋立分譲地の造成やターミナルの整備等は、「港湾整備特別会計」を設置し、造成等に要した市債を分譲地売却や施設使用の収入で償還してきました。

しかし、埋立分譲地の売却不振や地価下落等により、特別会計の独立採算を維持することが困難な状態となってきました。

そこで、平成 22 年 7 月にとりまとめた「経営健全化策」を着実に推進していきます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(単位:千円)

1 北九州港 ～ 長期構想「アジア・グリーンポート構想」の推進

「長期構想」に掲げる2つの理念のもと、将来の北九州港が果たすべき役割をイメージした4つの将来像の実現に向けて、事業に取り組みます。

(理念)

- ・ものづくりを支え、まちを元気にする。
- ・人と地球にやさしく、世界の環境首都を支える。

(将来像)

- ・ものづくり産業を支える物流基盤としての港
- ・災害に強く、いつも安全で、市民生活や企業活動を支える港
- ・環境首都（環境モデル都市）にふさわしい港
- ・多くの人が憩い、賑わう港

(将来像1) ものづくり産業を支える物流基盤としての港

近年、高い経済成長を続けるアジア諸国は、生産拠点の拡大や巨大市場としての存在感を増しており、その成長を取り込むことが、本市のみならず、日本経済にとって重要となっています。

そこで、北九州港は、アジアに向き合う最前線の港湾として、「船舶の大型化への対応」、「アジアとのシームレス物流の実現」、「アジア向け産業の集積促進に向けた魅力ある立地環境の形成」等に取り組みます。

(Ⅳ-1・新規) 響灘洋上風力発電拠点化推進事業 35,400
【新成長戦略関連】

響灘地区に洋上風力発電の「発電拠点」と「産業拠点」の形成を目指し、港湾区域内における導入適地の設定や、国内・アジア圏で急速に拡大する風力発電産業の市場調査等を行います。

(Ⅴ-1・継続) 新門司埋立地造成事業	146,540
(Ⅴ-1・継続) 響灘西埋立地整備事業	38,500
(Ⅴ-1・継続) 響灘東埋立地整備事業	488,200

新門司地区及び響灘地区において、企業立地に必要な造成やインフラ整備を行います。

- (V-2・新規)北九州港における更なる物流拠点化推進事業 10,000
【新成長戦略関連】
東九州自動車道の開通を契機として、集貨と創貨の相乗効果による「更なる物流拠点化」を推進するために、北九州港を利用した物流の活性化に取り組む事業者を支援します。
- (V-2・継続)国直轄事業負担金 2,022,000
国が行う新門司地区の航路・泊地・岸壁、田野浦地区の岸壁の整備について、地元負担を行います。
- (V-2・継続)北九州港利用促進補助事業 46,300
北九州港の利用促進を図るため、航路誘致、集貨・創貨の促進にかかる助成を行います。
- (V-2・継続)太刀浦地区クレーン更新事業 473,832
太刀浦コンテナターミナルのガントリークレーンについて、船舶の大型化や荷役作業の高速化に対応できるように更新を行います。
- (V-2・継続)太刀浦埠頭用地整備事業 226,400
太刀浦コンテナターミナルのヤード舗装の轍や破損箇所について、舗装補修を行うとともに、未舗装個所の舗装を行うことで、荷役作業の安全性の確保と効率の向上を図ります。
- (V-3・新規)港湾施設維持管理(長寿命化)計画策定事業 13,284
老朽化が進む港湾施設の必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストの抑制を図るための長寿命化計画の策定を行います。
- (V-3・新規)船舶接岸安全性保持事業 64,707
船舶が岸壁に安全に接岸するために必要不可欠な緩衝材の計画的な修繕・取替えを行います。
- (V-3・新規)港湾施設緊急安全対策事業 87,434
高度成長期(1960~1970年代)に整備された岸壁・護岸等は、施設の劣化が進行しています。これらの施設のうち、早急に安全対策が必要となっているものについて、維持・補修を行います。

- (V-3・継続) 奥洞海航路浚渫事業 252,000
奥洞海地区において、航路の航行環境の改善や船舶の大型化に対応するため、航路の浚渫を行い、国際競争力強化を図ります。
- (V-3・新規) 航路泊地浚渫対策事業 188,700
北九州港内において、船舶の入出港に制約のある航路・泊地の埋没浚渫を行い、船舶の航行環境の改善を図ります。
- (V-3・継続) 港湾施設整備事業(補助) 804,000
岸壁や道路など、老朽化した港湾施設について、適切な改良を加え、有効活用を図るために整備を行います。また、市民が気軽に港や海辺を楽しめる緑地の整備を新門司や響灘東地区で行います。
- (V-3・継続) 公共上屋長期維持保全工事事業 191,767
平成23年度から着手した事業で、公共上屋の長寿命化のため、維持補修を計画的・効率的に行います。
- (将来像2) 災害に強く、いつも安全で、
市民生活や企業活動を支える港
- 大規模災害やテロ等から地域を守り、安全・安心で質の高い市民生活の構築や安定した企業活動の実現等に貢献する港づくりを目指します。
- (II-1・継続) 北九州港海岸防災推進事業 16,000
大規模災害に備えるため、強固な海岸防災対策が必要とされています。そこで、平成26年度は、引き続き、耐震性の調査を行うとともに、老朽化調査した海岸保全施設について、ライフサイクルマネジメントの観点から維持管理計画を策定します。
- (II-1・継続) 海岸(高潮)事業 140,000
災害に強い都市づくりの一環として、臨海部における高潮等の災害から市民の生命や財産を守るために、新門司及び白野江地区で護岸整備を行います。

(V-3・継続) 港湾施設保安対策事業 **226,401**

改正海上安全条約（SOLAS 条約）に基づき、船舶を利用した国際テロの発生を防止するため、外国貿易に利用される港湾施設の保安対策を実施します。

(将来像3) 環境首都（環境モデル都市）にふさわしい港

深刻化する地球環境問題に積極的に取り組む先進都市港湾として、陸域、海域からなる広大な港湾空間を積極的に活用して、資源循環型社会の形成、低炭素社会の実現、自然環境の保全・再生などを行い、本市が掲げる世界の環境首都にふさわしい港づくりを目指します。

(V-2・継続) モーダルシフト推進補助事業 **5,000**

北九州港の利用とモーダルシフト（CO2 削減効果が高い輸送方法へのシフト）を促進するため、船社・荷主企業等を対象に補助金を交付します。

(VI-2・継続) LED 照明等導入事業 **13,600**

北九州グリーンフロンティアプランの一環として、門司地区幹線道路のLED 照明灯の導入を推進します。

(将来像4) 多くの人が憩い、賑わう港

平成 23 年 5 月に策定した「新・海辺のマスタープラン」では、「利用できる海辺を増やす」、「海辺の親しまれる度合いを高める」という2つの目標を掲げ、市民が気軽に海辺を親しめる事業に取り組めます。

(Ⅲ-1・拡充) 魅力ある海辺づくりの推進 **10,435 (うち拡充分 5,554)**

「新・海辺のマスタープラン」の目指す、「魅力ある海辺づくり」の一つとして、門司港に寄港したクルーズ客船の歓迎イベントや地元特産品のふるまい等を通して北九州市の魅力を発信します。

(IV-4・継続) 北九州港市民PR事業 **14,410**

広く市民に海・港に親んでもらい、港の賑わいを創出するため、帆船公開、海峡クルージングなどを開催するほか、北九州港内で開催される花火大会を支援します。

2 北九州空港 ～ 航空貨物拠点化の推進と旅客便の利用促進

(V-2・拡充) 北九州空港航空貨物拠点化事業 161,537

【新成長戦略関連】 (うち拡充分 32,228)

航空貨物拠点化に向けて、滑走路延伸を見据えた実績づくりに力を入れています。そのため、福岡県、苅田町と共同で、航空貨物の定期便の維持や誘致を行い、集貨促進を図ります。

(V-2・継続) 北九州空港路線誘致事業 133,460

【新成長戦略関連】

北九州空港に、新規の国際・国内定期便を誘致するために、チャーター便助成や新規路線の定着を図るための事業を実施します。

(V-2・継続) 北九州空港利用促進・集客対策事業 31,783

北九州空港の国内・国際路線の定着を図り、更なる路線ネットワークの充実を目指して、PR・集客活動を実施します。

(V-2・継続) 北九州空港アクセス推進事業 169,000

北九州空港へのアクセスの利便性の向上のため、エアポートバスや乗合タクシーの運行支援を行います。